

授業科目**応用内眼解剖学実習**

| | | | | |
|---------------------------|------|-----|-------|----|
| 担当教員名 鈴木 了、萩原 康雄、江玉 瞳明 | 対象学年 | 3・4 | 対象学科 | 理学 |
| | 開講時期 | 後期 | 必修・選択 | 選択 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 45 |

ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ |

授業の概要

内眼解剖に関する講義と実習を通じて筋骨格系等の運動における総合的な関連性、神経、脈管系の走行と立体的配置および支配、臓器と他の器官との関係等をより実践的に観察、学習すると共に、研究および臨床と関連させ「人体の構造と機能」を総合的に学びます。

授業の目的

内眼解剖に関する講義と実習を通じて筋骨格系等の運動における総合的な関連性、神経、脈管系の走行と立体的配置および支配、臓器と他の器官との関係等をより実践的に観察、学習すると共に、研究および臨床と関連させ「人体の構造と機能」を総合的に理解する事を目的とする。

学習目標

1. 解剖学および運動学の基礎および用語を理解し、それらを解剖体と照らし合わせて説明できる
2. 体幹のおよび体肢の骨格および靭帯、関節構造を領域毎に理解し、且つそれらを包括的に説明できる
3. 全身の骨格筋の特徴および機能を理解し、動作時の状態を総合的に説明できる
4. 末梢神経の走行、分布、分節を実際的に理解し、骨格筋の神経支配、臨床症状と合わせて説明できる
5. 神経および筋に変異および多様性を理解し、臨床、研究に当てはめてを説明できる
6. 臓器および脈管系の位置および分布を理解し、神経および全身の構造と合わせて説明できる

授業計画

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | 学習方法・学習課題・備考 | 担当教員 |
|-------|----------------------|--------------|------------------|
| 1・2 | オリエンテーション、上肢筋および腕神経叢 | 講義・実習 | 鈴木 了、萩原 康雄、江玉 瞳明 |
| 3・4 | 下肢筋および腰仙骨神経叢 | 講義・実習 | 鈴木 了、萩原 康雄、江玉 瞳明 |
| 5・6 | 体幹筋（腹側）の構成と胸神経前枝 | 講義・実習 | 鈴木 了、萩原 康雄、江玉 瞳明 |
| 7・8 | 体幹筋（背側）の構成と胸神経後枝 | 講義・実習 | 鈴木 了、萩原 康雄、江玉 瞳明 |
| 9・10 | 頭頸部の筋と頸神経叢 | 講義・実習 | 鈴木 了、萩原 康雄、江玉 瞳明 |
| 11・12 | 胸部内臓および循環系と呼吸筋 | 講義・実習 | 鈴木 了、萩原 康雄、江玉 瞳明 |
| 13・14 | 腹部内臓および骨盤内臓 | 講義・実習 | 鈴木 了、萩原 康雄、江玉 瞳明 |
| 15・16 | 中枢神経系と脳神経 | 講義・実習 | 鈴木 了、萩原 康雄、江玉 瞳明 |
| 17・18 | 肩関節周囲の靭帯や関節包 | 講義・実技 | 鈴木 了、萩原 康雄、江玉 瞳明 |
| 19・20 | 肘関節・手関節・手部周囲の靭帯や関節包 | 講義・実技 | 鈴木 了、萩原 康雄、江玉 瞳明 |
| 21.22 | 股関節周囲の靭帯や関節包 | 講義・実技 | 鈴木 了、萩原 康雄、江玉 瞳明 |
| 23.24 | 膝関節・足関節・足部周囲の靭帯や関節包 | 講義・実技 | 鈴木 了、萩原 康雄、江玉 瞳明 |
| 25 | まとめ | 講義・実技 | 鈴木 了、萩原 康雄、江玉 瞳明 |

使用図書

| 使用図書 | 書名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 | 価格 | その他 |
|--------|------------------------------|------------------|----------|--------|----------|-----|
| 教科書 | | | | | | |
| 参考書 | 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第3版 | 奈良 黙、鎌倉 矢子 | 医学書院 | 2010 年 | 6,000円+税 | |
| | 新 動きの解剖学 | ブランディーヌ・カレージエルマン | 科学新聞社 出版 | 2009 年 | 6,000円+税 | |
| | 1年次「機能解剖学」指定の参考書 | | | | | |
| その他の資料 | | | | | | |

評価方法

レポート課題

履修上の留意点

- ・2月（詳細な期日は未定）の1週間に日本歯科大学で解剖実習を行います。
 - ・指定教科書の他に、1年次科目「機能解剖学」の参考書、配布資料等を使用します。
- また実際の解剖体による非常に貴重な実習であり、且つ専門科目および卒業研究との対比が重要となる科目です。
各自十分な事前学習、準備を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

【江玉】（日時）月～金の12：10～13：00, （研究室）研究棟2（E棟）E215, （連絡先：E-mail）edama@nuhw.ac.jp

【鈴木】オリエンテーション時に連絡します。

【萩原】オリエンテーション時に連絡します。